



松阪構想区域における病床整備等について

病床の機能転換（病院の建て替え）について

済生会松阪総合病院より、病院の建て替えに伴う病床の機能転換について報告します。

病床の機能転換の内容（案）

- **医療機関名** 済生会松阪総合病院

- **建て替え後の内容**

新築移転日 令和9年7月

移転先住所 松阪市朝日町字石田365番1

病床数 一般病床 430床

（うち、HCU 24床、SCU 9床、NICU 3床、GCU 3床）

診療科 【診療科目】

内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、呼吸器内科、脳神経内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、乳腺外科、呼吸器外科、消化器外科、皮膚科、形成外科、腎臓内科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科、緩和医療科、臨床検査科、新生児科、ペインクリニック科、リウマチ科、救急科 計 33診療科

【専門外来】

腎不全外来、糖尿病外来、乳腺外来、脳血管内治療外来、脊椎・脊髄外来、人工関節外来、腰痛外来、ペインクリニック、フットケア外来、ストーマ外来、助産師外来

- **建て替えのねらい**

- 老朽化、狭隘化を改善させ、患者サービスを向上させます。
- 地域災害拠点病院として有事の際も医療を継続して行えるよう免震構造を採用。また、屋上にヘリポートを設置し災害に強い病院として整備を行います。
- 新興、再興感染症に対し即時対応が出来るよう、患者動線分離、外来及び病棟のゾーニングが可能な整備を行います。

病床の機能転換（病院の建て替え）について

● 強化する機能

- 救急医療・・・増大する地域ニーズに応えるため、救急医療を重視した救急外来を整備します。
また、松阪市民病院が今後、機能転換していくなかで、これまでの3病院での救急体制を維持できるように体制を整備します。
- 災害医療・・・免震構造を採用し、トリアージスペースを意識した病院設計を実施。また、場外離着陸場のヘリポートを屋上に設置し、松阪地区広域消防組合と連携を行います。また、断水時には井戸水が利用でき、緊急用汚水枡も設置するため衛生管理を向上させます。
- 新興、再興感染症対策・・・病棟及びHCU内において、フェーズに応じて柔軟に対応可能な整備を行います。

● 医療機能別病床数の変更見込み

- 病床機能報告上は、高度急性期及び回復期から急性期へ35床の転換となります。

【病床機能報告上の変更見込み】

高度急性期	130床	→	119床	-11床
急性期	276床		311床	+35床
回復期	24床		0床	-24床
慢性期	0床		0床	±0床
合計	430床		430床	